

水質汚濁防止法第5条第1項の規定による届出書
【記入例】 (有害物質使用特定施設の場合)

様式第1 (第3条関係) (表面)

不要な部分は二重線で消してください。

特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ 設置 ~~(使用、変更)~~ 届出書

平成〇〇年 〇月 〇日

東 広 島 市 長 様

東広島市西条●●町100-1-1

届出者 株式会社○△製作所
代表取締役 東広島 一郎

印

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		株式会社○△製作所 西条工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		東広島市西条××町 200-9-2	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	65 酸又はアルカリによる 表面処理施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	有にチェックを入れてください。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

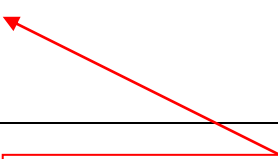
第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 9 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

参考1 には、特定施設の設置・変更、污水处理施設等設置・変更、排出水量及び負荷量の増減等について記入します。

参考1

許可申請・届出の概要

特定施設の設置・変更	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1基 を新たに設置する。
污水处理施設・変更等	排水処理施設の污水等の汚染状態及び量が変更となる。 また、処理する有害物質の種類に、「フッ素」が追加される。
排出水量の増及び減	排水の量の増減 通常：15m ³ → 35m ³ 最大：20m ³ → 45m ³ 排水による主な負荷量の増減 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 50mg/L → 30mg/L フッ素 0 mg/L → 6 mg/L
備考	本届出により設置する施設は、市外の工場から施設を移設して設置するものである。 

設置の理由等、何か参考になることがあれば記入します。

参考2 には、工場又は事業場周辺の見取図や、主要製品名等について記入します。

参考2

参 考 資 料

- 1 工場又は事業場周辺の見取図
別添第 ○ 図のとおり
- 2 工場又は事業場における建築物、施設などの配置図
別添第 ● 図のとおり
- 3 工場又は事業場全体の操業の系統
別添第 △ 図のとおり
- 4 工場又は事業場全体の特定施設の種類及び数
(設置又は変更後の種類及び数を記入すること)

号 番 号	名 称	数
6 5	酸又はアルカリによる表面処理施設	2 基

- 5 主要製品名及びその主原料

主 要 製 品 名	主原料及びその使用量（1日当たり）
自動車部品用ネジ	アルミニウム 30 kg/日

- 6 その他参考事項

工場又は事業場の敷地面積	1,000 m ²	常時使用する従業員数	60 人
工場又は事業場の建物の延べ面積	600 m ²	操 業 時 間	8 時間
資本の額又は出資の総額	3,000 万円	用 途 地 域	工業地域

別紙1 には、特定施設の型式や構造について記入をしてください。

別紙1

特定施設の構造

既設か新設かについても記入します

工場又は事業場における施設番号	No. 1 (既設)	No. 2 (新設)
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	65 酸又はアルカリによる表面処理施設
型式	浸漬式 (●●社製 A101)	浸漬式 (●●社製 B1-1)
構造	ステンレス製 (添付第1図参照)	ステンレス製 (添付第2図参照)
主要寸法	3,000×5,000×1,500 mm	3,000×7,000×1,800 mm
能力	自動車部品ネジ 200個/日	自動車部品ネジ 300個/日
配置	第1工場内 (添付第3図参照)	第2工場内 (添付第4図参照)
設置年月日	平成20年 1月10日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	〇〇年 〇月 〇日
工事完成予定年月日	年 月 日	〇〇年 〇月 〇日
使用開始予定年月日	年 月 日	〇〇年 〇月 〇日
その他参考となるべき事項	別紙1の2を参照	別紙1の2を参照

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

既設のものは「設置年月日」を、新設のものは「工事着手等の「予定日」を記入してください。

別紙1の2 は、有害物質を使用する特定施設を設置する場合のみ作成します。有害物質を使用しない施設の場合は作成不要です。

この様式の設備、構造等の欄には、特定施設に接続している施設（配管、溜め枡、排水溝等）について記入します。

別紙1の2

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	No. 1 (既設)	No. 2 (新設)
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	65 酸又はアルカリによる表面処理施設
設備	溜め枡 配管	溜め枡 配管 排水溝
構造	溜め枡：コンクリート製 40mm厚 (FRP被覆あり) 配管：塩ビ製 (地下配管・トレンチ内に設置)	溜め枡：コンクリート製 50mm厚 (FRP被覆あり) 配管：塩ビ製 (地上配管) 排水溝：コンクリート製 50mm厚 (FRP被覆あり)
主要寸法	溜め枡：500×500×500 (H) mm 配管：内管直径100mm 外管直径120mm	溜め枡：700×700×500 (H) mm 配管：内管直径150mm 外管直径170mm 排水溝：500 (W) ×500 (H) mm
配置	第1工場内 (添付第3図参照)	第2工場内 (添付第4図参照)
設置年月日	平成20年 1月10日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	〇〇年 〇月 〇日
工事完成予定年月日	年 月 日	〇〇年 〇月 〇日
使用開始予定年月日	年 月 日	〇〇年 〇月 〇日
その他参考となるべき事項		排水溝は、他の施設からの排水も合流する。

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

別紙2 は、特定施設の使用の方法について記入します。

操業の系統、使用時間、原材料、汚水等の汚染状態等について記入してください。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1 (既設)		No. 2 (新設)		
特定施設号番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設		65 酸又はアルカリによる表面処理施設		
設置場所	第1工場内 (添付第3図参照)		第2工場内 (添付第4図参照)		
操業の系統	添付第5図参照		添付第5図参照		
使用時間間隔	9時～18時		9時～18時		
1日当たりの使用時間	連続9時間		連続9時間		
使用の季節的変動	年度末の2月～3月に多い		年度末の2月～3月に多い		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	硝酸(濃度は○%)： △リットル/日を被膜槽へ加える 希硫酸：●リットル/日 過酸化水素水：□リットル/日 水：◇リットル/日		フッ素(濃度は●%)： ▲リットル/日を被膜槽へ加える 希硫酸：○リットル/日 過酸化水素水：■リットル/日 水：◆リットル/日		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	4.7	3.5	4.7	3.5
	BOD(以下mg/L)	60	150	50	120
	COD	90	200	70	150
	SS	50	150	50	150
	全窒素	30	100	30	100
	全リン	50	800	50	800
	亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100	130	0	0
フッ素	0	0	80	120	
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	10	15	20	25	
その他参考となるべき事項	溶液は1か月に1回抜き取って、産廃処理を行う		溶液は1か月に1回抜き取って、産廃処理を行う		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

特定施設から排出される汚水の、pH、BOD、COD、SS、窒素、リンなどの排水基準が定められた項目について記入します。それ以外にも、原材料などから予測される水質汚濁の原因となる項目があれば記入してください。特に、鉛やトリクロロエチレンなどの有害物質については必ず記入してください。

なお、新設のため各項目の濃度の測定結果がない場合は、設計値を記入してください。

別紙3 は、汚水等の処理の方法について記入します。

特定施設からの排水処理施設以外にも処理施設があれば記入をし、「変更前」と「変更後」を作成してください。

「汚水等の汚染状態及び量」には、別紙2の「汚水等の汚染状態」と同じ項目を記入します。

別紙3

汚水等の処理の方法（変更前）

工場又は事業場における施設番号	排水処理施設				浄化槽				
処理施設の設置場所	添付第5図参照				添付第6図参照				
設置年月日	平成20年 1月10日				平成20年 1月10日				
工事着手予定年月日	年 月 日				年 月 日				
工事完成予定年月日	年 月 日				年 月 日				
使用開始予定年月日	年 月 日				年 月 日				
種類及び型式	連続自動式				合併処理浄化槽				
構造	鉄筋コンクリート製				FRP製				
主要寸法	添付第6図参照				添付第7図参照				
能力	40m ³ /日				15人槽				
処理の方式	中和、還元、凝集沈殿処理				活性汚泥法				
処理の系統	添付第8図参照				添付第9図参照				
集水及び導水の方法	添付第3図参照				添付第4図参照				
使用時間間隔	9時～19時				0時～24時				
1日当たりの使用時間	連続10時間				連続24時間				
使用の季節変動	年度末の2月～3月に多い				なし				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	苛性ソーダ、次亜塩酸ソーダ、高分子凝集剤（使用量は別紙）				次亜塩素酸ソーダ（〇kg/日）				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	4.7	7.0	3.5	6.5	7.0	7.0	7.0	7.0
	BOD（以下mg/L）	60	25	150	45	100	20	100	20
	COD	90	25	200	45	120	20	120	20
	SS	50	20	150	40	60	20	60	20
	全窒素	30	5	100	10				
	全リン	50	5	800	10				
	亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100	50	130	80				
フッ素	0	0	0	0					
量(m ³ /日)	10	10	15	15	5	5	5	5	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥（硝酸を含む）〇kg/月 〇〇(株)へ処理を委託				汚泥（フッ素を含む）●kg/月 (有)△△へ処理を委託				
排出水の排出方法	No. 1 排出口にて放流				No. 1 排出口にて放流				
その他参考となるべき事項	No. 1、No. 2の表面処理施設からの排水を処理する施設				事務所棟の給湯室、トイレ等の排水を処理する施設				

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

汚水等の処理の方法（変更後）

工場又は事業場における施設番号	排水処理施設				浄化槽				
処理施設の設置場所	添付第5図参照				添付第6図参照				
設置年月日	平成20年 1月10日				平成20年 1月10日				
工事着手予定年月日	年 月 日				年 月 日				
工事完成予定年月日	年 月 日				年 月 日				
使用開始予定年月日	年 月 日				年 月 日				
種類及び型式	連続自動式				合併処理浄化槽				
構造	鉄筋コンクリート製				FRP製				
主要寸法	添付第6図参照				添付第7図参照				
能力	40m ³ /日				15人槽				
処理の方式	中和、還元、凝集沈殿処理				活性汚泥法				
処理の系統	添付第8図参照				添付第9図参照				
集水及び導水の方法	添付第3図参照				添付第4図参照				
使用時間間隔	9時～19時				0時～24時				
1日当たりの使用時間	連続10時間				連続24時間				
使用の季節変動	年度末の2月～3月に多い				なし				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	苛性ソーダ、次亜塩酸ソーダ、高分子凝集剤（使用量は別紙）				次亜塩素酸ソーダ（〇kg/日）				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	4.7	7.0	3.5	6.5	7.0	7.0	7.0	7.0
	BOD（以下mg/L）	55	20	135	40	100	20	100	20
	COD	80	20	175	40	120	20	120	20
	SS	50	20	150	40	60	20	60	20
	全窒素	30	5	100	10				
	全リン	50	5	800	10				
	亜硝酸化合物及び硝酸化合物	50	30	60	50				
フッ素	40	6	60	8					
量(m ³ /日)	30	30	40	40	5	5	5	5	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥（硝酸を含む）〇kg/月 〇〇(株)へ処理を委託				汚泥（フッ素を含む）●kg/月 (有)△△へ処理を委託				
排出水の排出方法	No. 1 排出口にて放流				No. 1 排出口にて放流				
その他参考となるべき事項	No. 1、No. 2の表面処理施設からの排水を処理する施設				事務所棟の給湯室、トイレ等の排水を処理する施設				

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙4 は、工場又は事業場の排水溝について記入します。雨水排水を含むすべての排水口について記入してください。

別紙4

排出水の汚染状態及び量（変更前）

工場又は事業場における施設番号		No. 1 排水口		No. 2 排水口（雨水排水）	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	亜硝酸化合物及び硝酸化合物	50	80	0	0
	フッ素	0	0	0	0
排出水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		15	20	0	0
その他参考となるべき事項		(関連施設) 排水処理施設、事務所棟の給湯室、洗面所、トイレ (排出先) 側溝 → ○○川 → ○○川 → ○○湾		雨水専用排水口	

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

特定施設から排出される汚水に対して排水基準が定められている、pH、BOD、COD、SS、窒素、リンなどの項目について記入してください。特に、鉛やトリクロロエチレンなどの有害物質については必ず記入してください。新設のため各項目の濃度の測定結果がない場合は、設計値を記入してください。

なお、ここにある項目は、排水水の汚染状態の測定を実施する必要があります。

当該排水口と別紙1及び別紙2の特定施設、並びに別紙3の処理施設との関係を記入してください。別添図等での説明がある場合には、その旨を記入してください。

また、排出先の河川名、港湾名、海域名などを記入してください。

排出水の汚染状態及び量（変更後）

工場又は事業場における施設番号		No. 1 排水口		No. 2 排水口（雨水排水）	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	亜硝酸化合物及び硝酸化合物	30	50	0	0
	フッ素	6	8	0	0
排出水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		35	45	0	0
その他参考となるべき事項		(関連施設) 排水処理施設、事務所棟の給湯室、洗面所、トイレ (排出先) 側溝 → ○○川 → ○○川 → ○○湾		雨水専用排水口	

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙5 は、COD、窒素、リンについて、汚染状態とその量について記入します。記入例は、CODですが、窒素、リンについても作成してください。排水量等に変更がある場合は、「変更前」と「変更後」を作成してください。

なお、江の川流域については、別紙5の提出は不要です。

別紙5

排水水の排水系統別の汚染状態及び量（変更前）

		指定項目の別		COD						※	
特定排水水	業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)			汚濁負荷量 (kg/日)				
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大	
	206-1	20	40	10	15			40	0.2	0.3	
232-12	20	20	5	5			5	0.1	0.1		
合計				15	20			45	0.3	0.4	
特定排水水 以外の 排水水	種類及 び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他 参考事 項	<p>汚濁負荷量の通常欄には、 汚染状態（通常）×水量（通常） 汚濁負荷量の最大欄には 汚染状態（通常）×水量（最大） を記入してください。</p>										

備考 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。

この欄には、平成14年広島県告示728号別表第一、第729号別表又は第730号別表の第1欄及び第2欄の番号を記入してください。

特定排水水以外の排水水とは、冷却水や減圧用など、その用途に供されても汚濁負荷量が増加しない排水水のことです。そのような排水水があれば記入してください。

替え、Qcjの項には記載しないこと。

5 ※印の欄には記載しないこと。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量（変更後）

								指定項目の別	COD		※
業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)			
	通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大		
特定排水水	206-1	20	40	30	40			40	0.6	0.8	
	232-12	20	20	5	5			5	0.1	0.2	
	合 計			35	45			45	0.7	1.0	
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合 計										
その他の参考事項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

別紙6 は、上水、工業用水、地下水等が、各工場、事務所等への用水の系統及びこれらの施設から汚水等の処理施設、排水口までの排水の系統を図で示すものです。

「変更前」と「変更後」を作成してください。

別紙6

用水及び排水の系統（変更前）

用水及び排水の系統	別添第10図のとおり (このスペースに記入できる場合は記入すること)		
	用途	使用水	用水使用量(m ³ /日)
用途別用水使用量	事業系洗浄用水	市上水	15
	生活用水	市上水	5

用水使用量は1日あたりの最大使用量を記入してください。

別紙6

用水及び排水の系統（変更後）

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>別添第10図のとおり (このスペースに記入できる場合は記入すること)</p>		
<p>用途別用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量(m³/日)</p>
	<p>事業系洗浄用水</p>	<p>市上水</p>	<p>40</p>
	<p>生活用水</p>	<p>市上水</p>	<p>5</p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>